

(様式6)

小林 将生 氏から学位申請のため提出された論文の審査要旨

題 目 Development of a Clinical Assessment Test of 180-degree Standing Turn Strategy (CAT-STTS) and Investigation of its Reliability and Validity.
(180° 立位回転動作の動作戦略評価 (CAT-STTS) の開発とその信頼性
および妥当性)
Journal of Physical Therapy Science, (in press)
Masaki Kobayashi, Shigeru Usuda

論文の要旨及び判定理由

本研究は立位回転動作の動作戦略を把握するための評価尺度の開発とその信頼性及び妥当性を検討したものである。

180° 立位回転動作の動作戦略評価 (CAT-STTS) の開発は、27名の片麻痺患者を対象に麻痺側下肢の運動機能、歩行能力および麻痺側回転と非麻痺側回転動作のビデオ分析を行い、動作戦略の評価項目として7項目を決定した。その後2名の理学療法士がCAT-STTSを用いた評価を実施し、検者内信頼性および検者間信頼性の検討を行った。構成概念妥当性としてCAT-STTSのTotal scoreと回転動作所要時間、歩数、麻痺側下肢運動機能、歩行能力との関連性を検討した。その結果、CAT-STTSは検者内信頼性および検者間信頼性が確認された。また、CAT-STTSのTotal scoreと立位回転動作能力、麻痺側下肢運動機能、歩行能力に有意な相関関係が認められ構成概念妥当性が確認された。CAT-STTSは動作戦略をスコア化することで、臨床における立位回転動作の質的・量的評価を簡便に実施することを可能とした。

以上のように、本研究は新たな理学療法評価指標を開発したものであり、今後の理学療法の発展に寄与するものと認められ、博士 (保健学) の学位に値するものと判定した。

(平成27年12月24日)

審査委員

| | | |
|----|---------------------------|-----------|
| 主査 | 群馬大学大学院教授 リハビリテーション学講座 | 坂 本 雅 昭 印 |
| 副査 | 群馬大学大学院教授 リハビリテーション学講座 | 渡 邊 秀 臣 印 |
| 副査 | 群馬大学大学院教授 リハビリテーション学講座 | 土 橋 邦 生 印 |

参考論文

1. Association of performance of standing turns with physical impairments and walking ability in patients with hemiparetic stroke.

(脳卒中片麻痺患者における立位回転動作能力と身体機能障害、歩行能力との関連性)

Journal of Physical Therapy Science 27: 75-78, 2015.

Kobayashi M, Takahashi K, Sato M, Usuda S

2. The characteristics of multi-directional step distance and the association between stepping laterality and walking ability of patients with stroke

(脳卒中患者における多方向へのステップ距離の特徴とステップ非対称性と歩行能力の関連性)

Journal of Physical Therapy Science 27: 905-907, 2015.

Kobayashi M, Takahashi K, Sato M, Usuda S